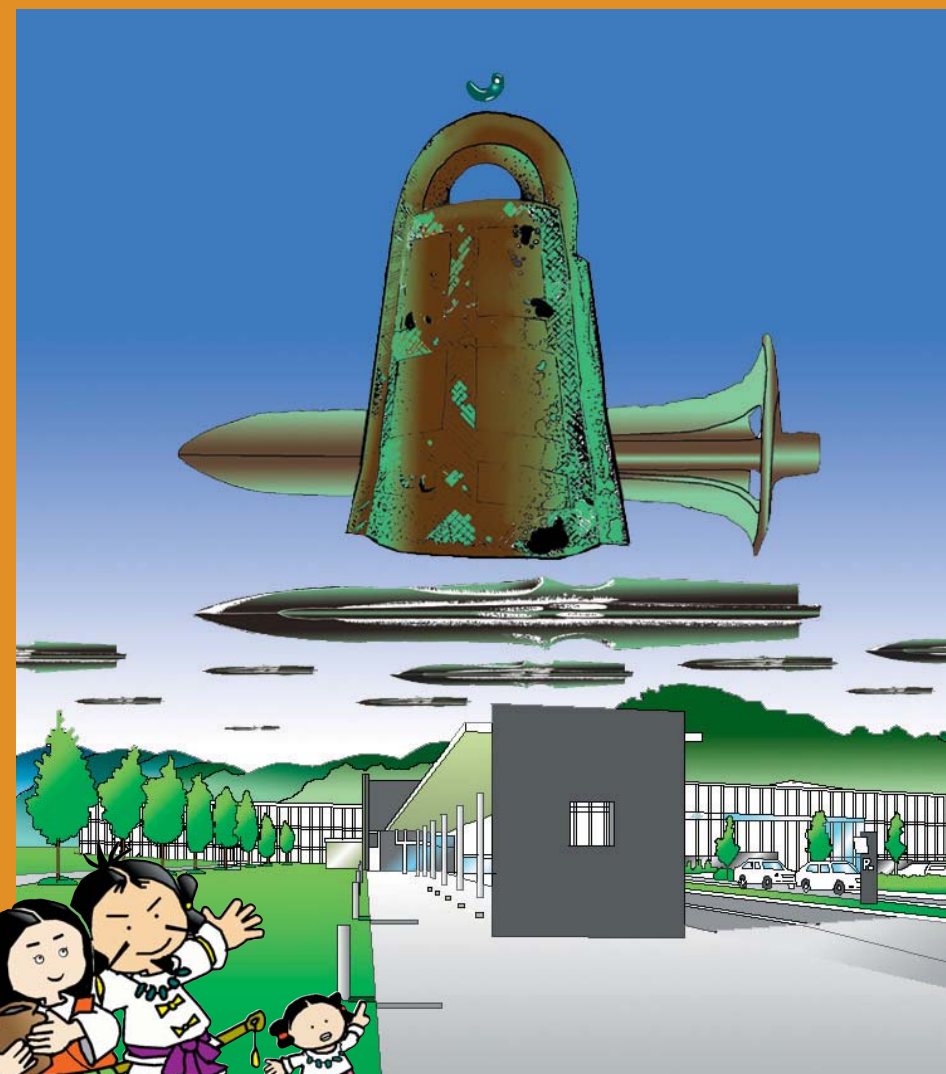


# 建設会報 いずも



No.116 2007年4月号



編集・発行人 (社)島根県建設業協会出雲支部  
経営改善研究委員会

# contents

- ▶ 巻頭言／中筋 豊通〔(社)島根県建設業協会出雲支部長〕…… 1
- ▶ 新任幹部寄稿
  - ／澤田 真也〔出雲労働基準監督署長〕…… 3
  - ／岡 良治〔出雲警察署長〕…… 4
  - ／森山 裕夫〔出雲県土整備事務所長〕…… 5
- ▶ 入札制度改革について …… 6
- ▶ 建設業の情報化に関するアンケート …… 9
- ▶ それ(今)IT化!・君(e施工管理)はET化!
  - ／梶野 治彦〔土木委員長〕…… 15
- ▶ トピックス／ぜんざいは出雲が発祥!! …… 16
- ▶ 新任職員挨拶
  - ／原 佳文子〔(社)島根県建設業協会出雲支部〕…… 17
- ▶ 編集後記／永田 隆一〔経営改善研究委員〕…… 18





## 生き残りをかけて 「中小建設業、知恵を出せ！」 (新リーダーの下で)

(社)鳥根県建設業協会出雲支部  
支部長 中筋豊通

4年に一度の統一地方選挙が終わり、鳥根の新リーダーが決定し、「活力ある鳥根づくり」のために、新たな県政運営の基本的枠組みも示されました。

- (1) 県民の総力を結集
- (2) 公正で効率的な行政の推進
- (3) 財政の健全性の確保

さらに、溝口新知事は記者団の質問にこう答えていらっしゃいます。

- ・「転換期の鳥根県政への期待をひしひしと感じる。鳥根が発展し若者たちが豊かな人材として育つよう全力を挙げたい」
- ・「最初に財政再建に着手する。1ヶ月以内に改革推進会議を設置し、10月末までに財政健全化計画を作成する。中長期的に持続可能な財政運営の展望を示し、改革の道筋を付けたい。県の事務や事業を徹底的に見直し、ステップアップした対策を打ち出したい」
- ・「地域特性に合った産業の発展を支援したい。しまね産業活性化会議や緊急雇用対策会議を設け、今後4年間で2千人の新規雇用を創出する。企業誘致に向け高速道路の建設を急ぎたい。県外企業の誘致だけでなく県内の中小企業の育成にも力を入れる。観光振興では年間入り込み客3千万人の実現を目指す」
- ・「県政にもっと県民の声を反映させる。電子メールや手紙によるホットラインも作る。庁内に県民室を新設し県民の参加を促したい」

活力ある鳥根、安心して暮らせる鳥根、心豊かな鳥根、3つの基本目標達成と上記の県政運営の基本的枠組み実行への強い思いが感じられます。

この、新リーダーが進もうとしている枠組みの中で、我々中小建設業は鳥根のために何をすべきか、どう地域に貢献して行くのか、会員の皆様と生き残りをかけて考えていかねばなりません。

“安全・安心のための街づくり”、三月の能登半島地震では、崩壊した道路の大半が「盛り土」工法で建設、土木工学の研究者は危険性を指摘、排水対策と耐震診断の徹底を呼び掛けました。安全第一で考えるならば、価格優先の工法に問題はなかったのでしょうか？

また、溝口新知事は最初に財政再建に着手されるようですが、19年度予算を見ると、自主財源は36.5%しかありません。厳しいことは分かります、しかし安全・安心のための改善、整備は不可欠であり、専門家として言うべきことは言う、遠慮することはありません。

公正で効率的な行政の推進も基本的枠組みの1つにあげていらっしゃいますが、義務的経費が歳出の50.2%、その約半分の1,290億円が人件費です。正しくステップアップした対策が望まれます。

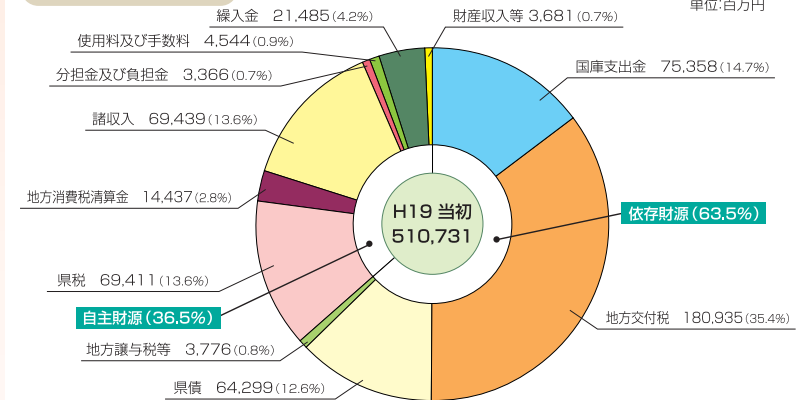
さらに、地域特性に合った産業の発展を支援したいとのこと。建設業にこだわらず、出雲らしさ、鳥根らしさ、例えば特産品、魅力ある観光資源、残された自然、不便さを逆手にとって新産業創出が出来ないか、柔軟な発想から何かが生まれるかもしれません。

これから新知事の下で「財政健全化計画」「産業活性化政策」等々、鳥根の進むべき道が示されるでしょう。重要なのは、この道を、それぞれの企業が、業界が、具体的な行動計画を構築し、鳥根の発展のために確かな足取りで歩んでいけるかどうかです。

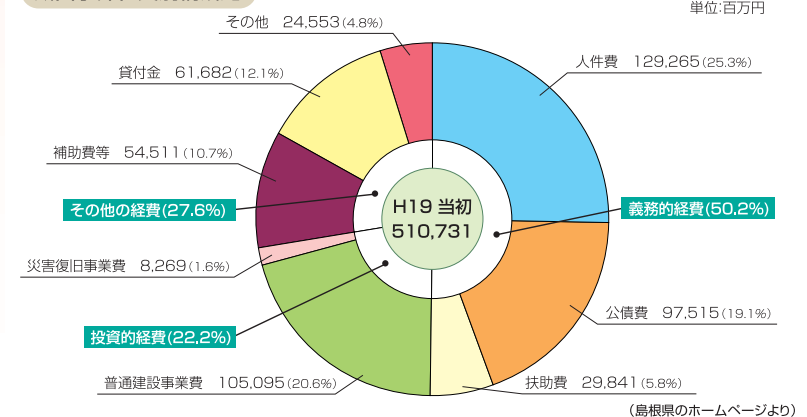
生き残りをかけて「中小建設業、知恵を出せ！」  
皆さん、頑張ってください。今年度も宜しくお願いいたします。ありがとうございました。

### 《参考》平成19年度当初予算 歳入・歳出構成内訳

#### 歳入予算款別構成比



#### 歳出予算性質別構成比





〈新任幹部寄稿〉  
着任のご挨拶

出雲労働基準監督署  
署長 澤田真也

この度、4月1日付けをもちまして出雲労働基準監督署長を拝命した澤田真也と申します。

前任地は愛知労働局刈谷労働基準監督署で、鳥根労働局勤務は初めてでございます。鳥根県建設業協会出雲支部の会員の皆様には、日頃から労働基準行政、とりわけ労働災害防止対策の推進に当たり、格別のご理解・ご協力を賜っておりますことを厚くお礼申し上げます。

県内の経済情勢は全般的には持ち直しの動きが見られるものの、建設業においては新規住宅着工戸数及び公共工事事業量は減少しており、個人消費の動きが弱いこともあいまって依然として大変厳しい状況にあると認識しています。

このような状況であるにもかかわらず、当署管内事業場における建設業の労働災害（休業4日以上死傷災害）は、平成18年に65件発生しており、平成16年以降ゆるやかに増加している状況にあります。

事故の型別に見てみますと、「墜落・転落」が26件と全体の40%を占めています。次いで「切れ・こすれ」が10件、「はさまれ・巻き込まれ」が9件となっています。

建設業における労働災害を減少させるには、墜落防止対策がポイントであり、足場先行工法、及び手すり先行工法の周知徹底を図ってまいります。

また、過去の死亡災害事例を見ますと「建設三大災害」の占める割合が高く、墜落防止対策と併せて土砂崩壊災害を防止するため土止め先行工法についても周知徹底を進めてまいります。

さらに、発注者に対しては施工時の安全衛生確保に配慮した発注、請負事業者の自主的安全衛生管理の評価等の導入について指導・要請を行ってまいります。

新たな建設業総合対策に基づき、元方事業者を中心とした統括安全衛生管理の徹底、リスクアセスメントの実施及び労働安全衛生マネジメントシステムの確立等自主的安全衛生管理の促進を図るための指導を計画的に行ってまいります。

引き続き、貴協会会員の皆様にはご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会及び会員の皆様のますますのご発展、ご繁栄を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



〈新任幹部寄稿〉  
着任のご挨拶

出雲警察署  
署長 岡 良治

3月5日付で出雲警察署長を命じられ着任いたしました。管内の治安責任者として、安全と安心を確保した良好な治安維持に、署員と共に全力で取り組みますのでよろしく申し上げます。

協会の皆様方には、平素の企業活動等を通じて、地域社会の発展に御尽力されておられることに敬意を表しますと共に、暴力追放や交通安全活動をはじめとする警察業務の各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜っていることに対し厚く御礼を申し上げます。

本年4月、警察署再編から2年が経過しました。再編の折には、住民の皆様が治安悪化の不安や懸念がありましたが、住民の方々の声を拝聴し、その視点に立ったパトロール強化などを積極的に展開した結果、犯罪や交通事故が減少するなどの効果も見られ、治安の低下を招くことはありませんでした。御安心いただきたいと思います。

さて、出雲警察署では、本年の運営指針を『県民とともにある力強い警察』にして、

- ①安全・安心なまちづくりの推進
- ②重要犯罪、組織犯罪等の徹底検挙
- ③テロの未然防止
- ④交通死亡事故の抑止

の四本柱を重点に、“日本一治安の良い『いずも』”を目指して取り組んでいます。

良好な治安の確保には、街頭における警察活動の強化を図ることはもとより、地域住民の方々の理解と協力が不可欠であり、特にこれからは、安全確保に向けた「自発（自主）的な取組」と関係機関・団体が連携した「協働活動」の一層の推進が必要であります。

当地域では、事件事故の抑止を図るための防犯ボランティア団体・パトロール隊の組織化や青色防犯灯の設置等の防犯諸対策と活動が活発に実施されており、また、昨年の夏以降社会問題化した飲酒運転に関しても、職場や地域で約一万人の人々が「飲んだら乗らない・乗るなら飲まない・乗るなら飲ませない」の三不運動の実践を署名により提出されるなど、積極的かつ先進的な取組が行われており、大変心強く思っています。

警察といたしましては、今後とも協会の皆様方と緊密な連携を図りつつ、安全・安心な地域社会の実現に取り組みますので、御理解と御支援を賜りますようお願いいたします。

終わりにりましたが、貴協会の益々の御発展と会員御一同様の御健勝と御多幸を祈念いたしまして着任の挨拶とさせていただきます。